

事例13

< 事例概要 >

出血

- ① 60 歳代、虚血性腸炎、腎機能低下、骨髓異形成症候群、1 型糖尿病の患者。
- ② 末梢血管確保困難のため、中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 26.0 kg/m²。脱水あり。血小板2 万台/ μ ℓ。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 右内頸静脈よりリアルタイム超音波ガイド下で穿刺。ガイドワイヤーを15 cm挿入後、ダイレーターを約5 cm挿入し、カテーテルを留置したが、逆血を確認できず抜去。圧迫止血 5 分後、意識レベル低下、経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）75%、下顎呼吸となり心肺停止。X線で血胸と診断し、胸腔ドレーンから多量の血液を吸引。抜去から約3 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、上大静脈損傷、もしくは奇静脈、内胸静脈損傷（疑い）による血気胸。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。